

第29回 区民車座集会

日時 平成29年5月26日（金）15時～16時半

会場 麻生区役所4階 第1会議室

1 開会

2 市長あいさつ

3 事例発表・意見交換

（1）イントロダクション

- NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
～これまでの芸術・文化のまちづくり～

（2）芸術・文化を通じた地域の活性化

- NPO法人KAWASAKI アーツ
～KAWASAKI しんゆり映画祭について
市民（みんな）がつくる映画のお祭り～

（3）区内各地での芸術・文化活動の連携

- 劇団民藝
～区内各地と連携した公演制作～

（4）新百合ヶ丘・麻生区の地域ブランド化

- NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
～「芸術・文化のまち」のブランド化～

4 まとめ

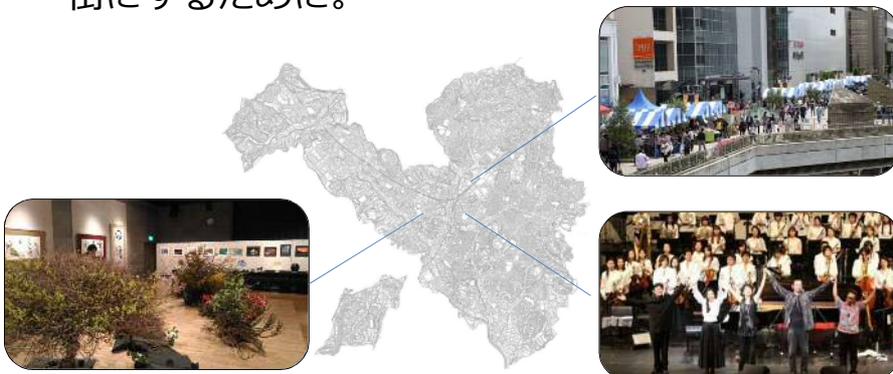
5 閉会

これまでの芸術・文化のまちづくり

NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

「芸術・文化のまちづくり」とは

- 新百合ヶ丘、麻生を住みたい街、住み続けたい街にするために。



1

これまでの歩み

- 麻生区の誕生、麻生市民館の建設
- 麻生フィルハーモニー管弦楽団、麻生合唱団の設立、第1回麻生音楽祭の開催



麻生文化センター開館記念式典
(1985.4)



第1回麻生音楽祭
(1986.5)

2

これまでの歩み

- 日本映画学校（現日本映画大学）の移転開校
- 昭和音楽芸術学院（現昭和音楽大学）の移転開校



日本映画学校の移転開校
(1986.4)

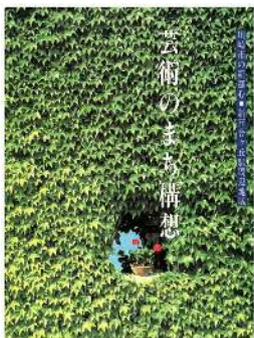


昭和音楽芸術学院の移転開校
(1989.4)

3

これまでの歩み

- 「芸術のまち構想」 (平成3年～)
- しんゆり映画祭、アート市の開催



「芸術のまち構想」パンフレット
(1994.3)



第1回しんゆり映画祭
(1995.10)

4

これまでの歩み

- 新百合ヶ丘「第2のまちびらき」
- 昭和音楽大学の移転開校、川崎市アートセンターの開館、kirara@アートしんゆりやアルテリッカしんゆりの開始



昭和音楽大学移転開校
(2007.4)



川崎市アートセンター開館
(2007.10)



kirara@アートしんゆり (2007.11)



アルテリッカしんゆり (2009.4)

5

KAWASAKIしんゆり映画祭について

市民(みんな)がつくる映画のお祭り

KAWASAKIしんゆり映画祭について

- KAWASAKIしんゆり映画祭(本祭)・・・毎年秋に7～10日開催
- ジュニア映画制作ワークショップ・・・中学生が夏休みを利用して短編映画を1本まるごと作成し、本祭で上映
- 野外上映会・・・夏の終わりに1日限定で野外上映
- バリアフリーシアター・・・
 - ・視覚障がい者向け⇒副音声ガイド制作・送迎・FMラジオ貸出し案内
 - ・聴覚障がい者向け⇒日本語字幕付き上映、会場文字案内、ゲストイベントの際は、手話通訳・ノートテイクの提供。
 - ・子育て中の保護者向け⇒託児所を設置。上映中お子さまお預かり。

1

KAWASAKIしんゆり映画祭について

- ・ しんゆり映画祭が立ち上がった経緯と目的

1995年に川崎市の「芸術のまち構想」の一環としてスタートし、今年で23回目を迎えます。地域住民や地元団体・企業の皆様のご支援ご協力をいただきながら、市民スタッフが、企画・運営の中心を担い、行政がバックアップする新しい形の市民映像祭として定着・発展してきました。

市民が文化を、享受する側と発信する側とを自由に行き来する場をつくり、その中で街の機関や団体・商店や企業、さらに文化を創造する現場のプロとも交流する場をつくり、街の活性化さらに文化の活性化へつなげ、市民の文化生活をより豊かにする土壌を自主的に育む場の創出と発展を目的としています。

2

KAWASAKIしんゆり映画祭 関係団体

【主催】NPO法人KAWASAKIアーツ

【企画・運営】

NPO法人KAWASAKIアーツ・映画祭運営委員会

【共催】

川崎市、川崎市アートセンター、川崎市教育委員会、日本映画大学、(一財)川崎新都心街づくり財団、昭和音楽大学

【後援】

「映像のまち・かわさき」推進フォーラム、麻生区文化協会、(公財)川崎市生涯学習財団、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

【協力】小田急電鉄株式会社 他

3

市民が作る映画祭へ

- ■「市民映画祭」への転換（第2回しんゆり映画祭1996年～）
- ・市民の声から生まれたバリアフリーシアター（1997年より）
- ・大人の文化祭から子どもも参加できる映画祭へ・・・ジュニア映画制作ワークショップ（2000年より）
- ・地域の村祭りの再現・夏休み野外上映会（2000年より）
- ■ 市民ボランティアの役割（企画、美術制作、広報宣伝等）
- ■ ボランティアスタッフからプログラム委員、運営委員へ
- ■ プログラム委員で映画を選定
- ■ 運営委員で映画祭を運営

4

地域や専門家との連携

- 地域店舗が参加する「シネマウマカフェ」の開催
- 地域店舗が出店する野外上映会（夏祭りの雰囲気）
- 指導講師や技術サポートスタッフに、現場のプロが参加するジュニア映画制作ワークショップ
（使用する機材もプロ仕様のを映画大学のご協力で使用）
- 映画界で活躍する監督・俳優・脚本家・評論家等現役の専門家をゲストにお呼びし、映画作品をより多角的に体験、理解を深める
- 「プロボノ」を活用したイベントの運営分析

5

これからのしんゆり映画祭

1 市民ボランティアの確保

- ✓ 市民ボランティアは年により変動(減少傾向にあり)・高齢化
 - 映画や芸術・文化に関心のある地域の人材をどう発掘するか。
 - ボランティアに関心を持つ人材とボランティアを必要とするニーズをどうつなぐか。
 - ボランティアを継続してもらうためのインセンティブとは。

6

これからのしんゆり映画祭

2 情報発信の工夫

- ✓ 来場者数の伸び悩み(例年約2500人)
 - より多くの方に来場いただくためにはどうするか。
 - 映画(映画祭)のファンをどう増やしていくか。

7

これからのしんゆり映画祭

3 資金の確保に向けて

✓ 厳しい運営資金

- 市の負担金の減額の継続
- 会場・上映本数・広報費を含む経費削減
- 事務局維持の困難
- メセナ制度の活用(2013年より)
- クラウドファンディングの活用(2015年より)
- 企業スポンサーの協賛獲得(市民ボランティアの限界)

8

区内各地と連携した公演制作

劇団民藝

劇団民藝について

- 劇団民藝の概要（歴史、団員数、年間公演数、場所等）
- 稽古場公演の概要
- 地域との連携の目的



劇団民藝（麻生区黒川）



稽古場公演『をさの音』（2017.2）

1

地域との連携事例

- アルテリッカしんゆり 2017年『アンネの日記』
- 麻生区文化協会（民藝の女優を描くデッサン会）



アルテリッカしんゆり『アンネの日記』



民藝の女優を描くデッサン会

2

地域との連携事例

- 和光大学（公演運営インターン、稽古場公演チラシ制作）



和光大学で学生がプレゼン



公演前に出演者と学生が交流会

3

地域との連携事例

- おはなし会（近隣子ども向け企画）
- 地元おはやし連（黒川、細山、菅）と協力した稽古場公演『をさの音』



女優による絵本の読み聞かせ
（おはなし会）



地元おはやし連からの講習
（『をさの音』）

4

これからの連携に向けて

- ✓ 演劇活動をされている市民の方々との交流
- ✓ 黒川や多摩線沿線の魅力向上に向けて

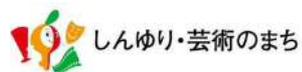
5

「芸術・文化のまち」のブランド化

NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

NPO法人しんゆり・芸術のまちづくりについて

- 活動の概要（歴史、年間活動、会員数等）
 - ✓ H21.12 「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラムの事務局を主体に設立
 - ✓ 新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係施設や人材などの地域資源を活かした「まちづくり」を促進し、地域の活性化・地域ブランドの確立を目指し活動
 - ✓ ホームページ運営事業、情報収集発信事業、イベント等支援事業等を展開
 - ✓ 会員31名（理事・監事13名）



1

「しんゆり・芸術のまち」のブランド化

区内外への情報発信（HP運営）



しんゆり・芸術のまち
ホームページ



イベントカレンダー



Facebookによる情報発信

2

「しんゆり・芸術のまち」のブランド化

PRロゴによるブランド化



PRボード
→新百合ヶ丘駅周辺を
中心に設置



新百合ヶ丘駅南口掲示板の管理



3

「しんゆり・芸術のまち」のブランド化

➤ イベント支援によるブランド化



kirara@アートしんゆり



アート市 in アルテリッカ

4

ブランド力の向上に向けて

1 「しんゆり・芸術のまち」の「見える化」

- ✓ 芸術・文化活動は、ホールなど施設の中に入らないと楽しさが分かりづらい。
 - 芸術・文化の楽しさをどう見える形で区内外の方々に伝えるか。
 - 「ブランド」で区外からどのように集客するか。

5

ブランド力の向上に向けて

2 「しんゆり」ならでの「芸術・文化のまち」

- ✓ 芸術・文化活動や施設は、都心部や周辺の都市でも存在
 - 新百合ヶ丘・麻生ならでの「芸術・文化のまち」をどうつくり、他都市との差別化を図るか。

6

ブランド力の向上に向けて

3 芸術・文化資源を活用した「まちの賑わい」

- 「まちの賑わい」を創り出すため、集積する芸術・文化資源をどのように活用していくか。

7

さいごに

- 目標がある街は、楽しくなる。
- 環境が良く楽しい街は、ずっと住みたくなる。